

2		<p>(2) デマンド型交通年間乗車人数</p> <p>デマンド型交通年間乗車人数について、基準値 6,774 人から 7,808 人への増加が示され、いずれも目標値 12,000 人とされておりありますが、これは過去の巡回バスの年間利用者数基準値の 1/4-1/3 規模に留まります。この目標値は、町民の実際の移動受容をどのように推計した結果なのでしょうか。</p> <p>免許返納が困難な状況が続く場合、高齢ドライバーの増加により重大事故のリスクや、施設入居等に伴う空家増加のリスクが高まるおそれがあります。交通需要の再調査を行ったうえで、より抜本的施策を検討する必要があるのではないかと考えます。</p> <p>町民アンケートからも、居心地の高さに対して生活利便性への満足度が低い状況が伺えます。もう一步ふみこみ、実情に即した施策を具体的に議論すべきではないかと思えます。</p>	<p>ご指摘のデマンド型交通の目標値における推計につきましては、利用実績に基づき段階的に増加させる目標としております。</p> <p>なお、過去に実施してございました巡回バスとは利用形態が異なるため、単純な比較は難しいと考えております。</p> <p>第六次吉見町総合振興計画は、一つひとつの施策を網羅する「事業管理型」から、多様な主体が協力しながら取り組む共通の目標を中心とした「目標管理型」の計画となっております。そのため、個別の事業については、各種分野別計画等で定めているところです。</p> <p>ご指摘の公共交通のあり方につきましては、国の推計では令和 24 年に高齢者人口がピークを迎える予測であり、運転免許証返納者も増加すると見込んでおります。今後は利用者ニーズを考慮し、より効果的な制度となるよう検討してまいります。</p>
---	--	---	--